

飯能市 公共交通 マップ

2025



飯能市
イメージキャラクター
夢馬（むーま）



バス事業者のご案内

国際興業バス	U R L	https://5931bus.com/	
飯能営業所	所在地	飯能市柳町 10-6	
西武バス	U R L	https://www.seibubus.co.jp/	
飯能営業所	所在地	飯能市美杉台 5-4-1	
狭山営業所	所在地	飯能市柏原 391-2	
イーグルバス	U R L	https://new-wing.co.jp/	
川越営業所	所在地	川越市笠幡 173-1	
	電話番号	049-233-3711	

募集 あなたもおでかけの足を支えてみませんか

バス運転士・タクシードライバー募集について

バス運転士・タクシードライバー不足が地域の課題となっています。市民の「おでかけの足」である地域公共交通をこの先も守っていくためには、担い手である運転士・ドライバーの確保が必要です。あなたも地域の方々や観光客などのおでかけの足を支える担い手として活躍してみませんか。

仕事内容や魅力について

バス運転士・タクシードライバーの仕事内容やその魅力、実際に活躍している方の声など、以下のホームページで紹介されています。

- 公益社団法人日本バス協会のホームページ
- 【あなたが輝く、社会を支える、バス運転士になろう!】
- 一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会のホームページ
- 【タクシードライバーになりませんか!】

発行 飯能市 市民生活部 交通政策課
〒357-8501 飯能市双柳 1-1
TEL 042-973-2111(代)内 618 FAX 042-972-8455
E-mail kotsu@city.hanno.lg.jp

路線バスのご紹介



バスのご利用方法

現金・PASMO・Suicaがご利用できます

乗降方法

中乗り・前降り（運賃後払い）

1 乗車時

現金の場合

乗車時に整理券をお取りください。（一部停留所を除きます。）

PASMO・Suicaの場合

ICカードをご利用の方は、IC読み取り部にタッチしてご乗車ください。

2 車内

・走行中は席に座るか、手すりや吊革につかまってお立ちください。

・降りるバス停がアナウンスされたら、近くの降車ボタンを押してください。

・運賃は、車内前方の運賃表に表示されます。（表示は、現金利用の大人運賃です。）

3 降車時

お手持の整理券番号の運賃を、つり銭のないようにしてご用意ください。

お手持のカードのチャージ残高をご確認ください。不足している場合、現金で精算が車内でチャージしてお支払いください。

飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」のご紹介

地区	系統	運行日	運行時間	運賃
精明東便	精明西便	加治便		
精明東	月・水・金	8時～17時	一律 200円	
精明西	※祝日、年末年始（12/29-1/3）は運休	※時刻表は市HPを確認		
加治				

※子ども（小学生）半額、未就学児無料、障害のある方半額
※車いすを利用して乗車する方は利用する前日の17時までに要事前予約

運行 西武ハイヤー㈱ TEL 042-972-8198

●使いかた

※飯能駅便【飯04】【飯05】は左の「バスのご利用方法」を参照

① 運行日、時刻表を確認します。

② 時刻表の時間までに停留所待ちます。

③ 運転士に先行を確認し、乗車します。

④ 運転士に降りる場所を伝え、運賃を支払います。※便により後払い

⑤ 乗合ワゴンが停留所（降りる場所）につきます。

⑥ 乗合ワゴンが完全に降りるまで待ち、降ります。

●フリー乗降制度

運行コース上の自由な場所で乗降りできます。 ※以下の区間は適用外です。

【原市場】 飯能駅便全線、
新寺～原市場地区行政センター間
【南高麗】 東飯能駅（駅前広場）～みどり橋（※フリー降車のみできます）

バスロケーション・時刻表情報

●バスロケーションシステムとは

次のバスがいつ頃来るか、バスの待ち時間などの目安が分かります。停留所を指定してバスの接近状況をスマートフォンやパソコンから調べることができます。

国際興業バス

位置情報・時刻表

https://transfer.navitime.biz/5931bus/pc/map/Top?window=busLocation

西武バス

位置情報・時刻表

https://transfer.navitime.biz/seibubus-dia/pc/map/Top

イーグルバス 飯能駅・宮沢路線バス

時刻表

https://eaglebus.group/rosen/hanno_miyazawa/

おでかけむーま号

精明東・精明西・加治エリア

時刻表

https://www.city.hanno.lg.jp/kurashi_seika-tsukankyo/kotsu/kokyokotsu/7/4502.html

原市場エリア

時刻表

https://www.city.hanno.lg.jp/kurashi_seika-tsukankyo/kotsu/kokyokotsu/7/7923.html

南高麗エリア

時刻表

https://www.city.hanno.lg.jp/kurashi_seika-tsukankyo/kotsu/kokyokotsu/7/7926.html

タクシーのご案内

●タクシーを便利に使おう!

飯能駅	約1,800円～2,000円（約12分）	トーベ・ヤンソン あけぼの子ども森公園
	約1,400円～1,600円（約10分）	メッツァ
	約600円～700円（約6分）	OH!!! ～発酵、健康、食の魔法!!!～

※乗車時間は道路事情により実際と異なる場合があります。
料金は概算の金額です。走行距離で算出しており、渋滞等は考慮していません。
実際には異なる場合がありますので、あくまで参考としてください。

事業者名	電話番号
西武ハイヤー株式会社	0570-07-8180
埼玉第一交通株式会社	042-972-7221
松葉交通株式会社	042-973-9432
近郊タクシー有限公司	042-974-3141

奥武蔵 らくらく交通のご紹介

対象者 ●吾野地区、東吾野地区に在住・在勤で利用登録された方
●吾野地区、東吾野地区に訪れた方（観光客を含む）

運行パターン ①吾野地区・東吾野地区 → 同地区
②吾野地区・東吾野地区 → 市内の別地区
※市内の別地区からのご利用はできません。
※日高市内の一部医療機関へのご利用ができます。

運行時間 8時～18時

運賃 一般料金 2km未満 500円 以降1kmごとに300円加算
地元料金（吾野・東吾野地区に在住・在勤の利用者）2km未満 500円 以降1kmごとに100円加算

使用方 ①事前登録をします。 ※観光利用の場合は要相談
②前日までに電話で予約します。
③車が乗車場所まで迎えに来ます。
④目的地まで移送します。

運行 NPO法人奥武蔵グリーンリゾート
予約・問合せ 090-2677-4362（事務局・平沼）

路線バスでおでかけしよう!

ノーラ名栗

北欧文化を体験できる複合施設。フィンランド式のサウナや、北欧風バーベキュー、グラッピ（宿泊）を体験できるほか、地域の特産品や北欧雑貨などの買い物をお楽しみいただけます。

飯能市下栗607-1
042-978-5522
年中無休※施設点検や修繕のため臨時休業する場合がございます。

OH!!! ～発酵、健康、食の魔法!!!～

天覧山の南麓にあり、セレクトショップ・ベーカリー・レストラン・体験施設といった4つの建物をもつ「発酵」のテーマパーク。「食の魔法」を味わって、学んで、体験できる場所です。【OH!!!】と驚く発酵体験をお楽しみください。

飯能市飯能1333 042-975-7001（総合案内）
各施設により異なるため、HPでご確認ください。
月曜日（祝日の場合は翌日）

メッツァ

（ムーンバレーパーク・メッツァビレッジ）

「メッツァ」では、北欧に流れているようなゆったりとした時間を過ごすことができます。ムーンシーターとその仲間たち、そして新しい発見と出会う「ムーンバレーパーク」と北欧のライフスタイルを体験できる「メッツァビレッジ」の、2つのエリアでお楽しみいただけます。

飯能市宮沢327-6 メッツァ 0570-03-1066 不定休
ムーンバレーパーク：平日10:00～17:00、土日祝10:00～18:00
メッツァビレッジ：平日10:00～18:00、土日祝10:00～19:00
※季節やイベントにより変動あり。

飯能河原

浅瀬が広がり、川遊びやバーベキューのスポットとして、多くの人でにぎわいます。飯能駅から歩いて15分ほどの場所にありながら、季節ごとの木々の彩りや清流に親しめる空間が魅力です。上下流には遊歩道が整備され、木々の中で川の治癒効果を楽しめます。

飯能市久下

名栗方面 路線バスの歴史

名栗街道にバスが走って100年が経ちました

1 名栗街道・公共交通の始まり 乗合馬車

飯能と名栗を結ぶ、通称「名栗街道」に初めての公共交通が登場したのは、明治時代の終わりのことです。それは「柗馬車」と呼ばれた乗合馬車です。原市場と飯能の間を走っていました。それを明治43（1910）年に原市場村の本橋藤太郎が1,000円（米価基準で300万円ほど）で買い取り、飯能から森河原（上名栗）の間で運行を開始しました。

2 埼玉県では大正期に普及 乗合自動車の登場

明治36（1903）年に大阪で行われた内国勸業博覧会に出品された自動馬車は、その後公共交通機関として利用されるようになりました。名栗街道では、柏木真八が大正10（1921）年に乗合自動車経営の認可を受けて、また本橋藤太郎は大正11年に「カムジン乗型六人乗」を使って馬車から乗合自動車の営業に切り替えていきました。

3 本橋藤太郎、柏木真八に事業譲渡 発展する名栗路線バス

昭和10（1935）年、本橋藤太郎は柏木真八（名栗乗合自動車）に乗合バス事業などを譲渡します。柏木は昭和14年には飯能から名栗・湯ノ沢間、飯能から東飯能間の乗合自動車を運行し、昭和17年には、飯能から森河原の間で1日2往復、飯能から名栗間で1日3往復運行していました。

4 大資本の傘下に入りより便利に！ 国際興業バスの継承

昭和34年、国際興業株式会社は飯能交通株式会社を買収合併し、乗合路線と貸切・乗用事業を継承します。合併時にはバス12台で飯能駅前から名栗・山伏口など主に9系統を運行していました。そして昭和39年には飯能営業所が飯能駅前から現在の地に移転します。また平成元（1989）年頃には名栗方面への観光路線だけでなく、エリア内での大規模住宅団地の分譲などもあった、通勤路線としての役割がより大きくなっていました。このように名栗街道には100年以上の間にバスが走り続け、地域住民の大切な「足」として利用されてきたのです。